



庄原自治振興区だより

第 167 号 令和 2 年 9 月 18 日 発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目 17 番 15 号

TEL/FAX
(0824) 72-3777



「第 1 回 福祉団体連携会議」を開催しました！

本年度重点事業の「高齢者等の安心サポートの取り組み」を進めるため、7月20日(月)13時30分から第1回福祉団体連携会議に関係団体18人の参加のもと開催しました。

本年度最初の会議であるため自己紹介後、検討議題に入り次のことを決定し取り組むとしました。

(1)福祉団体連携会議の開催 年4回の開催(予定)

(2)「さりげない見守り活動」の計画実践について。

①平成29年度に作成した「自治会でのさりげない見守り活動(緊急時の対応マニュアル)」及び令和元年度に作成した「高齢者等見守りネットワーク」を活用して、自治会での「自治会役員・民生委員児童委員・ひとり暮らし高齢者等巡回相談員」の3者の連携会議(定例的)の開催を推進する。

②自治会における「地域別福祉団体連携会議」の定着に向けて、現在、取り組みを進めている自治会を対象として作成した「見守りネットマニュアル」を説明し懇談を深める取り組みを実施する。

(3)「いのちのバトン」の各家庭100%設置への取り組みを継続する。

(4)全自治会での集まり場(サロン等)結成の取り組み。

①市社協と連携し、「楽笑座」を活用したサロンの開催。

(5)福祉関連団体合同研修会(12月)の開催を決定。



「危ないから避難しよう」あなたのこのひと言で救える命があります。

「助け出す」より

「連れ出す」ことをまず、考える。

8 月度 役員会報告

(8月25日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 新型コロナウイルス感染防止により、次の本区主催事業の中止を決定。
 - ・第15回区民ウォーキング、第14回「活動報告・作品展」、のろし祭
- (2) 防災本部と自主防災組織の取り組みについて
 - ・第1開設避難所の運営協力に関する協定書、市民会館との運用覚書と一緒に7/1締結。
 - ・防災マップ作成現地研修会・・・川手地区を対象として研修会を開催(11月中を予定)。
- (3) 自治振興センター建設・改修の実施設計・改修工事について
 - ・庄原市(設計業者)との協議・・・本区検討委員会(8/18)の要望を8/27に協議・調整。
- (4) 自治会活動報告・・・柳原一田村自治会長。次回は9月、西県営自治会。



～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.5



シリーズふるさと歴史文化散策 《古代1～2の1》

《鉄と庄原地方》 我が国における鉄器の使用は、弥生時代の稲作農耕とともに始まりますが、鉄・鉄器の生産がいつ頃から始まったのか、推定できる証拠は見つかっていません。

ただ、『日本書紀』には7世紀末までに、朝鮮半島から鉄錠(てつてい=素材としての鉄の板)がもたらされた記事があり、古代の庄原をみると、上原町の高丸交差点一帯で発見された、5世紀の大成遺跡から、鉄の鍛冶加工に用いた「ふいご部品」、6世紀終わりには新庄町上野総合公園一帯の、小和田遺跡では原始的な「製鉄炉」、濁川町戸の丸遺跡からは、60cm四方の小さな「製鉄炉跡」が見つかっています。このことから、古墳時代後期には局地的で未熟ながら、初期段階の鉄関連産業があったことが、庄原の遺跡から証明されたといえます。

なお、材料の鉄鉱石や鉄錠を、誰が、どこから・どのようにして庄原に運んできたのかは解りませんが、そのようなことが出来る人物がこの地方にいたことだけは確かです。

元明天皇の和銅3(710)年から、桓武(かんむ)天皇の延暦3(784)年までの74年間を奈良時代といい、現在の奈良市に「奈良の都」として知られる平城京がおかれ、終戦後、在日アメリカ軍施設用地拡張工事がきっかけで、平城京遺構の一部が見つかりさらに発掘調査が続き、昭和38(1963)年に大量の木簡(木札)が発掘されました。

その中に「備後国三上郡調鋤壹拾口 天平十八年」「三上郡信敷郷調鋤十口」と墨で書かれた木簡がありました。



調(みつぎ)の納品木簡

これは、今から約1270年前の天平18(746)年に備後国三上郡信敷郷より、鋤(くわ)を税の一つである「調」として物納した時の荷札で、今でいう納入伝票みたいなものです。

「壹拾口」の口数が鋤を数える単位と思いますが全数量は不明ですが、このことから、奈良時代北備地方では、鉄製品の生産が盛んであったことがわかります。

奈良時代の税制は、祖(そ)・庸(よう)・調(ちょう)及び雑徭(ぞうよう)が基本で、調はみつぎと言いつの土地の産物などの現物を税として納め、調を運搬する労力などの経費は全て納める者の負担で、みつぎ物と往復の食料を背負って遠路はるばる上京しました。

この点に関し、庄原郷土歴史資料館(田園文化センター)展示物に、昭和22(1947)年本村町の前方後円墳から出土した、駄馬の陶馬(とうま 長さ24.7cm×高さ14.3cm)が展示されていますが、奈良への道程は長く悪路で日数を要したであろう事から、鋤の運搬には日常生活に使用していた駄馬を使った可能性もあり、木簡の「三上郡信敷郷」は現在の峰田町及び春田町あたりと言われています。また「信敷」の表現は、天平以来、明治まで使用されていましたが、明治のいつごろかに「敷信」に変わり慣用化しています。



鋤寄(くわよせ)古墳群から出土の「陶馬」

予告編! 次回は《古代1～2の2》「神副寺」について紹介します。お楽しみに・・・。

《文・構成 庄原自治振興区歴史文化継承委員》

詳細は、庄原自治振興区発行の「庄原の歴史文化を未来に繋ぐ」資料集をご覧ください。

(資料集のお問い合わせは、庄原自治振興センター 電話 0824-72-3777 まで)

「ふらり」で 乾杯

老人クラブ紅屋結いの会



7月11日(土)、国営備北丘陵公園(北入口エリア:入園無料)にある里山の駅「ふらり」で、老若男女(?)18人が中華料理を囲み、3ヶ月ぶりの交流となりました。



令和2年度健康教室「いきかたノート～私からあなたへ」 — 新道上自治会 —

7月6日(月)17名参加のもと、庄原市地域包括支援コーディネーター上田正之・貝崎文昭両氏を講師としてお招きして「健康教室」を開催しました。今回は、人生のゴールに向けて「その時までをどう生きるか」を考えるためのノートとして、庄原市が作成した「いきかたノート」をもとに、次の内容について学習を深めました。このノートは下記について、元気なときに考え、書いておくものです。

1. 心豊かに安心して老いていくため、今取り組んでいること、今から取り組んでおきたいこと。
2. 介護、看護が必要になったとき人生の最期をどこでどのように迎えたいかを考えていくこと。
3. 自分らしく生きることはどうありたいかを自分で考え、自分で決めることが大切であること。
4. 家族や親しい人に伝えておきたいこと。

このノートについて話し合える家族・かかりつけ医・親しい人・ケアマネージャー等、気楽に頼むことが出来る人を大勢作っておくことが大事であり、これからの「生きかた」「逝きかた」を考えることで気持ちが定まり、最期まで自分らしく生きることが出来ることを学びました。

皆さんも考えてみましょう。



シルバーリハビリ体操を習いました!

— 大黒サロン(大黒上自治会) —

7月22日(水)、庄原市シルバーリハビリ体操指導士会の、貞丸・石井指導士をお迎えして7月の大黒サロンを行いました。今回で3回目となり、お互い緊張せず1時間30分に渡って指導して頂きました。現在、庄原市ではシルバーリハビリ体操のパンフレットを作成中で、講習を依頼されたサロンに配布されますので、完成したら4回目の講習をお願いしたいと思います。



体をリラックスする体操
肩を引き上げてストンと一気に力を抜く



転倒防止(ふくらはぎの強化)
椅子を軽く持ってつま先立ちで5秒を繰り返す。

南4区の合同夏行事を行いました！

— 大黒東・大黒上・裁判所通・大胡 —

新型コロナウイルス感染防止により、自治会・子ども会行事がすべて中止、学校も休校により夏休みが1週間に短縮され、不要不急な外出制限やサッカー・野球などの団体競技活動が制限されて、子供たちの元気な声が聞けなくなったため、南4区自治会長で協議して、子供たちに「夏のプレゼント」をあげることにしました。

実施にあたって、3密を避けるため予め参加希望者を調査、参加時間を自治会ごとに30分の時差を設けて実施する事としました。8月9日(日)、大胡児童公園で午前8時から準備、10時～大黒東・大黒上・裁判所通・大胡自治会の順番で、綿菓子とお菓子詰め合わせを約70名にプレゼントし、子供たちの歓声を聞くことが出来、予定時刻の午後12時に無事終了しました。



● 行事中止のお知らせ ●

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、予定していました下記行事を中止いたします。

- | | |
|----------------|-------------|
| 10月17日(土) | 区民ウォーキングの集い |
| 11月7日(土)・8日(日) | 活動報告・作品展 |
| 11月23日(月・祝) | のろし祭り |



10月の振興区主催行事予定



- | | | |
|-------------------------|-------------|--------|
| 10日(土) | 子供将棋教室 | 9:30～ |
| 13日(火) | 理事会・総務企画室会議 | 13:30～ |
| 20日(火) | 環境防犯パトロール | 9:00～ |
| (大黒東・大黒上・裁判所通・大胡の各自治会長) | | |
| 24日(土) | 子供将棋教室 | 9:30～ |
| 27日(火) | 役員会 | 13:30～ |



毎週1回 青少協防犯パトロール 16:30～

編集後記



このところの編集後記では、新型コロナに関する内容が続いていますが、ご多分に漏れず今回も新型コロナについてです。8月9日(日)、本市で初めての感染者が発生し、翌日には2人目の感染者が確認されました。

第1波で外出自粛、営業・移動自粛が功を奏して感染が減少、落ち着いてきたのを受けて、一部の営業活動が再開、県外移動禁止の解除と共に、第1波を上回る感染者が発生、大都市から地方へと感染が拡大しています。おかげで、今年度本区予定事業は、軒並み中止に追い込まれ、市社協・庄原地区社協・各自治会行事についても同様で、たよりの紙面掲載に四苦八苦しています。今期、購入した綿菓子機は一度使用しただけで、部屋の隅に寂しく座ったままです。

使用申し込みをお待ちしています。

〇記